

安全・適正委員会からのお知らせ No.91

転倒事故多発 ～転倒しないためには？～

暑さが続いていたかと思えば、雨の日が続くなど外に出る機会を減らしている方も多いかと思います。自然と運動量も落ち、体力、筋力も低下している可能性があります。

高齢になると、注意力の低下、服用薬が原因で転倒しやすくなるとも言われています。高齢期の転倒は、若い頃と比べ骨折入院といった思わぬ大けがにつながる可能性があります。

名古屋市シルバー人材センターでは、令和8年4月～8月末の間に11件の傷害事故が起こっています。そのうち5件が「転倒事故」で、4名の方（転倒した8割）が骨折しています。

歩き方を改善するだけで、転倒する危険は低下します。右の絵を参考に、自身の歩き方を見直してみたいはいかがでしょうか。

転倒予防には歩き方から。ぜひ試してみてください。



会員向けに転倒予防の講習会を開催します。ぜひ、お申し込みください！

健康づくり講習会～コケない身体を作りましょう！～

日時：令和8年10月20日（火） 午前10時～11時30分（予定）

内容：講義・実習：「高齢者の転倒予防」

講師：健康運動企画センター所長 植屋 節子 氏

定員：60名（各支部15名程度）支部別先着順

会場：高齢者就業支援センター 5階 大会議室

★参加申込は2種類（支部別先着順）

- ① シルバー人材センター業務部へ☎842-4688まで電話申込
- ② Smile to Smile アンケートから申込

★申込期間：①②とも9月18日（金）午前10時から

※Smile to Smile は、9/18（金）午前10時に配信します。



名古屋市シルバー人材センター 安全標語

安全は 基本動作の 繰り返し

注意してください！

9月から10月に増加する事故は・・・

1. 「植木手入れ」の「墜落・転落」

秋は庭木の剪定の就業が増える時期です。全国シルバー人材センター事業協会の統計でも、就業中の重篤な死亡事故の多くが植木の剪定時における脚立・はしごからの墜落・転落となっています。

2. 草刈り・清掃中の「機械事故」と「転倒」

夏から秋にかけて伸びきった草の刈り払いや、落ち葉清掃の業務が増えます。

① 機械刈除草による事故

全国では、障害物に刃が当たって跳ね返る「キックバック」による怪我や、飛び石による失明も起きており、負傷事故が多発しています。

保護メガネ、防振手袋（場合によってはスネあて）の装着や、半径15m以内に他の人を近づけない等、しっかり防護対策をしてください。

② 不安定な足元で転倒

傾斜がついている場所での草刈りや落ち葉清掃中に足元を滑らせて転倒し、骨折するケースが目立ちます。緩やかな斜面でも、半身になるなど転落しない姿勢を常に意識して作業してください。

3. ハチや害虫による「刺傷被害」

9月～10月はスズメバチの活動が最も活発になり、攻撃性が高まる危険な時期です。

スズメバチから身を守るために

特に攻撃的になるのは9月～10月

秋口は繁殖の時期でもあるため、非常に狂暴になっています。
巣に近づくだけでも攻撃される危険性があります。



就業前に巣がないか必ず確認

この時期のスズメバチの巣は、ほぼ球形で縞模様がするのが特徴です。

軒下や樹上、生垣の中など、さまざまな場所に巣が作られます。

就業中にスズメバチの巣を発見したらただちに就業を中止し、
発注者と相談して専門の業者等に駆除してもらうようにしましょう。



もしも刺されてしまったら

すぐにその場を離れ、傷口をよく洗い流すなどの応急処置をして、
病院へ行きましょう。症状がひどく自力で通院できない場合は周囲の人に救急車を呼んでもらって下さい。